

## 平成29年度採材現地検討会

日時：平成29年7月21日（金曜日）

場所：遠野市附馬牛町字東禅寺国有林344林班（素材生産請負事業実行現場）

参加者：県、市町、製材・造材・検知関係事業者、森林組合、森林管理署等（23団体、総勢約100名）

（岩手南部森林管理署と合同開催）

### 主な実施内容

各森林管理署の立木及び素材の販売予定について

県内の木材市況及び動向について（岩手県森林組合連合会 米澤様）

採材に当たっての留意事項（東北森林管理局青森事務所）

採材方法の検討・実演

講評（東北森林管理局青森事務所）

平成29年度採材現地検討会には、関係機関や請負事業者などおよそ100名が参加し、過去最多の参加者数となりました。採材方法の検討では、生産請負事業者及び森林管理署からそれぞれ2班編制し、スギ、カラマツ、広葉樹の各3本ずつをどのように採材するかを各班で検討していただき、それを基に実際に玉切りし、矢高を図るなど全体で検討を行いました。



総勢約100名の参加者



県内の木材市況及び動向について  
（岩手県森連 米澤様）



カラマツの採材検討（共林班）



カラマツの採材検討（遠野地区国生協）



スギの採材検討（森林管理署）



広葉樹の採材検討



カラマツの採材検討結果



矢高の測定（カラマツ）



検討結果発表（共林班）



検討結果を基に玉切り（スギ）



広葉樹の採材方法について解説  
（岩手県森連 米澤様）

採材方法の全体検討では、切る側と売る側それぞれの立場から活発な意見が出されました。  
岩手県森連の米澤様からは、木材市況及び動向についてのお話や採材についてご指導いただきありがとうございました。